

令和5年度 学校だより 10月号 2023.10.2

# 南小だより

児童数  
303名

—みんなが輝く南（皆美）小—  
行田市立南小学校 TEL 554-5555  
南小HP <https://gyodaminami.edumap.jp>

学校教育目標

進んで勉強する子〈学ぶ〉  
なかよく協力する子〈磨く〉  
健康でたくましい子〈鍛える〉

## 秋の山 静かに雲の 通りけり (夏目漱石)

校長 橘 明良

毎年この時季になると、文化庁から国語世論調査の結果が発表され話題となります。今年も、この学校だよりが配布される頃には新聞や文化庁のHPに紹介されているはずなので、今から楽しみです。関心のある方はぜひご覧になってみてください。そう言えば2年ほど前、初版以来60年を超えた有名な国語辞典が、8年ぶりの大改訂を行うというニュースを耳にしたことを覚えています。改訂には①新しい言葉を加える②使われなくなった言葉を削除する③すでに載っている言葉に新しい意味や用例を加えるという3つの大きな作業があるそうですが、このときの改訂では時代を映す約3500語が増補されたとのこと。「完コピ」「ゾーンに入る」「増し増し」「秒で」「持ってる」などは私も時々使いますが、「ウェビナー」「ニコイチ」「マリトッツォ」「リアタイ」などと聞くと、自信がありません。ここ2年の間にも新しい言葉や使われ方はどんどん増えました。次の改訂のときは「推し」「エモい」「アレ」なども追加されるのでしょうか。あるいはその頃には、とっくに誰も使わなくなっているのでしょうか。

ところで、詩人の茨木のり子さんに「日本語」と題する詩があります。

<制御しがたい奔流は／濁りに濁り／涇涇と流れてゆくがいい／

決壊を防ごうと たとえ百万人／力を併せて清潔なダムを作ってみても／  
そこに魚は住まないだろう>

さらに別の随筆では、聞き苦しい言葉は無数にあると言いつつ、「いやな日本語を叩きつぶせば、美しい日本語が蘇るというものでもないだろう」とも書いています。3500語の増補を、言葉の乱れと見るか言葉の賑わいと見るかは人それぞれだと思いますが、いずれにしても、「正しい日本語」「美しい日本語」を自然に使える自分でありたいし、子供たちにもそうあってほしいと願っています。



## 環境学習（5年生）

9月6日（水）に環境フォーラムの方をお招きし、5年生が環境学習を行いました。

行田市に棲む生き物や自然エネルギーなどの環境について学習しました。



## 生命の授業（6年生）・PTA学校保健委員会

9月6日（水）にくまがやピンクリボンの会の皆様にご協力頂き、6年生が生命の授業を行いました。がんについての学習や生命の尊さについて学び、生命の大切さについて深く学びました。当日は、PTA 学校保健委員会も兼ねて行い、保護者の皆様にも参加いただきました。ご協力ありがとうございました。



10月10日（火）は学校口座振替日です。口座のご確認及びご準備をよろしくお願いいたします。

1	日
2	月 委員会活動10月
3	火
4	水 児童下校12:35 就学時健康診断13:00
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月 スポーツの日
10	火 学費口座振替日
11	水 読み聞かせ(3・4年) 食育紙芝居(2年)
12	木 5時間下校
13	金
14	土
15	日
16	月 わくわくクラブ⑤
17	火
18	水
19	木
20	金 修学旅行(6年) (鎌倉・湯河原方面)
21	土 修学旅行(6年) (鎌倉・湯河原方面)
22	日
23	月 臨時休業日(6年)
24	火
25	水
26	木 市内音楽会(4年)
27	金 スクールカウンセリング実施日
28	土 少年の主張大会
29	日
30	月 クラブ活動
31	火